

平成 30 年度地域課題研究助成の報告

1. 研究課題名

整形外科病棟における術前せん妄アセスメントツールの活用

2. 研究代表者及び所属

高橋未来 新潟医療生活協同組合 木戸病院

3. 研究メンバー

高橋未来¹⁾ 千葉美弥¹⁾ 岩村江里奈¹⁾ 石原千晶²⁾

1) 新潟医療生活協同組合 木戸病院 2) 新潟県立看護大学

4. 学内責任者

新潟県立看護大学 石原千晶

5. 研究経費執行額

	旅費	報償費	役務費	需用費	合計
執行額 (円)	40,000	0	680	39,058	79,738

6. 研究の概要

本研究は、高齢の整形外科手術患者に対し、作成したアセスメントツールを用いて術前からせん妄発症リスクをアセスメントし、せん妄対策が実施できることを目的として取り組んだ。せん妄対策アセスメントツールの作成は、Lipowski の分類によるせん妄の準備因子、直接因子、誘発因子を基に、日本で開発された、せん妄スクリーニングツール (DST) と先行研究結果から導き出された、せん妄発症要因を参考に作成した。その後、研究対象者である看護師 15 名に次の①～④の手順を踏んで調査した。①アセスメントツール導入前の事前アンケートの実施、②術後せん妄の学習会開催、③高齢の整形外科手術患者に対し、入院日から術後 3 日目まで作成した、せん妄アセスメントツール「術後せん妄発症リスク因子表」を使った調査の実施、④アセスメントツール導入後の事後アンケートの実施。

事前アンケート結果から看護師のせん妄に関する認識は低く、「よく知っている」はおらず「ある程度知っている」が半数以下であった。しかし、せん妄学習会後の認識は上がり、90%以上がせん妄の発症要因が把握できるようになった。術後せん妄発症リスク因子表の使用はチェック漏れがあるなど継続困難な部分もみられたが、使用患者 16 名中、5 名にせん妄予防対策がとられた。事後アンケートから「術前よりせん妄対策をとっていくことが必要だと思った」などの意見もあり、術後せん妄発症リスク因子表の使用は効果的だったと考える。

7. 今後の学会発表予定

- ・有 (日本看護研究学会)